### 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部	3)	科目	区	分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科目名	情報処理実習I		必修/這	選択の	り別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位
対象学年	1年		学期及	び曜日	時限	前期	教室名	本館 PCルーム
担当教員	BSC	実務経験と その関連資格						

## 《授業科目における学習内容》

この授業では、学生がコンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。

## 《成績評価の方法と基準》

出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)

# 《使用教材(教科書)及び参考図書》

イーラーニングテキスト

対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が 独学できるようデザインされた教材です。 講義は基礎分野と応用分野に分類されています。

#### 《授業外における学習方法》

自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。

## 《履修に当たっての留意点》

出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
	講義形式	授業を 通じての 到達目標	講座を受講する意義を理解し、IT・DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる	CCT入門	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
		各コマに おける 授業予定	CCT講座を受講する意義、IT・DXリテラシーを学ぶ、IT・DXリテラシー理解度テストの実施	IT・DXリテラシー	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	PCの基本操作ができる	CCT入門	タイピング練習をすることで予習復習を行う。
2	我形式	各コマに おける 授業予定	ファイルの管理、クラウド、ウィンドウ操作、マウス操作、タイピングの基礎	PC基本操作	
第	講	授業を 通じての 到達目標	検索力を身につけ、正しい情報かどうか判断できる	CCT 1 HH	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
3	義形式	各コマに おける 授業予定	Web検索力、PCスキルに関するアンケート	CCT入門 検索力	
第	講	<sub>授業を</sub> 通じての <sub>到達目標</sub> Officeの基本操作ができる		CCT入門 共通操作	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
4 □	義形式	各コマに			
第	講義	授業を 通じての 到達目標	コンピュータシステム関連について理解できる	コンピュータ	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
5 □	莪形式	各コマに おける 授業予定	五大装置と機能、周辺装置、インターネットの仕組み、ァイルの 種類と保存形式	関連知識	

授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	文書作成の基本的な操作ができる	Wordダイジェスト	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認す ることができます。
6 П	我形式	各コマに おける 授業予定	文書作成の基本的な流れ/ページ設定/文字の書式設定/図 形・画像などの挿入/表の作成/ページ罫線		
	講義	授業を 通じての 到達目標	スライド作成の基本的な操作ができる	PowerPointダイ ジェスト	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
7 回	<b>報形式</b>	各コマに おける 授業予定	プレゼンテーションの作成手順/テーマとバリエーション/スライド/プレースホルダー/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/ワードアート/画面切り替え効果の設定/アニメーション効果/ノートの作成/スライドショー		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	PowerPointを使って学科紹介スライドを作成することができる		イーラーニングテキスト
8 □	我形式	各コマに		学科紹介作成	で講義の内容を確認しておくこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標 企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる		Excel基礎1	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
9 □	我形式	各コマに		基本操作	
30 回	講義	授業を 通じての 到達目標	関数を駆使した資料を作成できる	D 1#7#0	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
	<b>報形式</b>	各コマに おける 授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数 /COUNTIF関数/シートの操作	Excel基礎2 数式と関数基礎	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる	D 1#7#0	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
11 回	我形式	各コマに おける 授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グ ラフの編集	Excel基礎3 グラフ基礎	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	<b>通じての</b> 「データベース機能を理解し活用できる		イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
12	我形式	ジ 各コマに データベースとけ/データを並べ巷えろ/フィルター/ウィンドウ		Excel応用A データーベース	
第	講義	授業を 通じての <sub>到達目標</sub> 応用的な関数を活用できる1		Excel応用B	イーラーニングテキスト
13	彩形式	各コマに おける 授業予定	RANK.EQ関数/SUMIF関数/日付/時刻関数	関数応用1	で講義の内容を確認しておくこと。
弗 14 同	講義形式	授業を 通じての 到達目標	応用的な関数を活用できる2	Excel応用C 関数応用2	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認し ておくこと。
		各コマに おける 授業予定	VLOOKUP関数/ IF関数/ IFS関数		
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる	Excel応用D	イーラーニングテキスト
15 回		各コマに おける 授業予定		Exceli応用D グラフ応用	で講義の内容を確認しておくこと。